

令和3年度～令和7年度
第4期みどりのわ・ささえ愛プラン
山下地区 地区別計画

山下地区



撮影 宮田吉秀さん(小山町在住)旧山下小学校木造校舎(緑区遺産)

山下地区では、戸建て住宅地の開発や古い住居の建て替えによる比較的若い世帯の流入が進み、人口増加の要因になっています。しかし、尾根道沿いや高台の住宅地・集合住宅では、高齢者も多く、庭の手入れや部屋の掃除、買い物等に関する生活課題も表層化してきています。また、横浜環状北西線が令和2年3月に開通し、山下地域ケアプラザが令和3年4月に開所しました。山下地域ケアプラザの実施事業と連携した、地域住民の一層の交流促進や福祉保健活動の充実が期待されます。

山下地区の人口16,779人 [令和3年3月時点]

14歳以下：2,101人(12.5%) / 15～64歳：10,337人(61.6%) / 65歳以上：4,341人(25.9%)



みどりのわ・ささえ愛プラン(緑区地域福祉保健計画)とは
「誰もが安心して暮らし続けられる緑区をめざして」を基本理念とし、「一人ひとりが主役・共に支え合うつながりのあるまちづくり」を進められるよう、区域計画と11の地区別計画で構成されています。

みどりのわ・ささえ愛プラン 地区別計画リーフレットの音声訳版はこちら ➡



地域のつながりや支え合いのある 誰もが元気で暮らし続けられる街をめざして

重点取組 & 具体的な活動

重点取組 1 住民相互の見守り、見守られる支え合いのまちづくり

【具体的な活動】

- 住民同士が支え合いながらサロンや昼食会などの活動を継続し、参加者同士のつながりをつくります。
- 日頃の生活の中での小さな気づきを住民相互で共有し、地域での「ゆるやかな見守り」を行います。
- 生活支援事業を継続し、チョットした「困りごと」に対し住民同士での支え合いを進めます。また、担い手を増やし、支え合いの輪を広げます。
- 災害時要援護者への支援について、日頃の支え合いのネットワークを活用して継続的に取り組みます。



▲マラソン大会



▲体育祭

重点取組 2 地域での「つながり」を大切に、「健康」で 元気に暮らし続けられるまちづくり

【具体的な活動】

- 元気づくりステーション(※1)やスポーツイベントなどを通して、健康づくりを行いながら参加者同士のつながりをつくります。
- 「新しい生活様式」に合わせて地域の活動を続けることで、フレイル(※2)予防を進めます。また、認知症の方も参加できる取組を行います。
- ネットワークサロン(※3)などを活用し、地域内の活動団体間のつながりを深め、情報を共有し、住民が様々な活動に新たに参加するきっかけをつくります。

※1元気づくりステーション…高齢者が身近な場所で主体的に介護予防や健康づくりに取り組むグループのこと。
 ※2フレイル…加齢とともに心身のはたらきや、社会とのつながりが弱くなった状態のこと。
 ※3ネットワークサロン…平成28年から始まった自治会や老人会で実施しているサロンをネットワーク化し、住民はどこへでも気軽に参加することができることを目標としています。



▲Mr. クッキング

重点取組 3 必要な「情報」が入手しやすいまちづくり

【具体的な活動】

- 回覧板や掲示板を活用した情報発信を継続します。また、ささえあいバスや人が集まる場所(診療所、ドラッグストア、温浴施設等)への紙媒体の掲示を進めます。
- 媒体の多様化の観点で、電子媒体での活動の情報発信に取り組みます。(例: FacebookやLINEなどを活用した活動の様子(写真、動画)の発信)
- 情報入手方法として、住民向けにスマートフォンの活用方法について学ぶ場を設けます。

ふらっとホール

【ボランティアより】

障害がある人もない人もすべての人が参加できるサロンです。
 地域の情報収集をしたり、情報交換をしています。
 近所の気になる人を誘って地域で見守りをしています。
 ボランティアは、認知症サポーター養成講座を受講しました。
 地域で趣味の発表をする場としても開放しています。

【利用者の声】

「あー○○ちゃん?久しぶり!」「久しぶりに話ができ、笑ったり楽しかった、ありがとう。」
 「干支のトラの折り紙を教えてもらい楽しかった。」



生活支援事業(地区ボランティアセンター)



【コーディネーターより】

役割は電話で要望等を聞き取ることです。
 ご利用者の方から安心して依頼できると言われ、役に立っていることを実感しています。

【ボランティアより】

「わあ、きれいになった」と庭を見て喜ぶ笑顔が励みです。困ったことがあれば、とりあえず電話でご相談ください。

【利用者の声】

「チラシを見て依頼したらすぐに来て木枝を伐り雑草を取って庭がきれいになりました。困っていたので大変助かりました。」

ハイハイオカピ

【保健活動推進員より】

お母さんたちと相談しながら、試行錯誤でやっています。帰りはささえあいバスに乗ってみんなで帰ることもできます。ぜひ来てください!

【主任児童委員より】

お母さん同士の友だちづくりの場になっています。子どもたちにとってはずっと同級生。小さい時からつながっているのはステキなこと!

【参加者の声】

「地域の方・先輩と触れ合う機会、オカピで出会って道端で挨拶したりするようにもなりました。子どもと一緒に見守ってもらえてありがたいです。」



ささえあいバス



【ドライバーより】

「坂道が多かったので助かった」の声が嬉しいです。運転手は高齢者が多いですが、安全第一で運転していますのでご安心して利用ください。

【添乗員より】

お客様あつての添乗員です。イケメン運転手と美人添乗員でやさしく楽しいささえあいバスに乗って買い物に行きましょう。

【利用者の声】

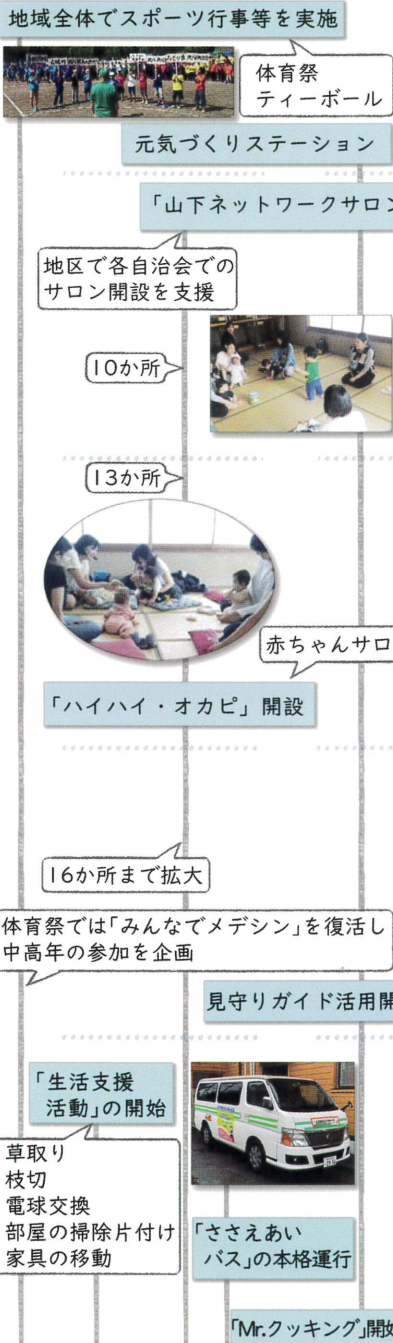
「車のない人や高齢者にとって大変助かっています。買い物便では知り合いが増えるのも楽しみです。」

これまで(第2～3期計画)の取組状況

第2期
平成27年度まで
第3期
平成28年度
平成29年度
平成30年度
令和元年度
令和2年度

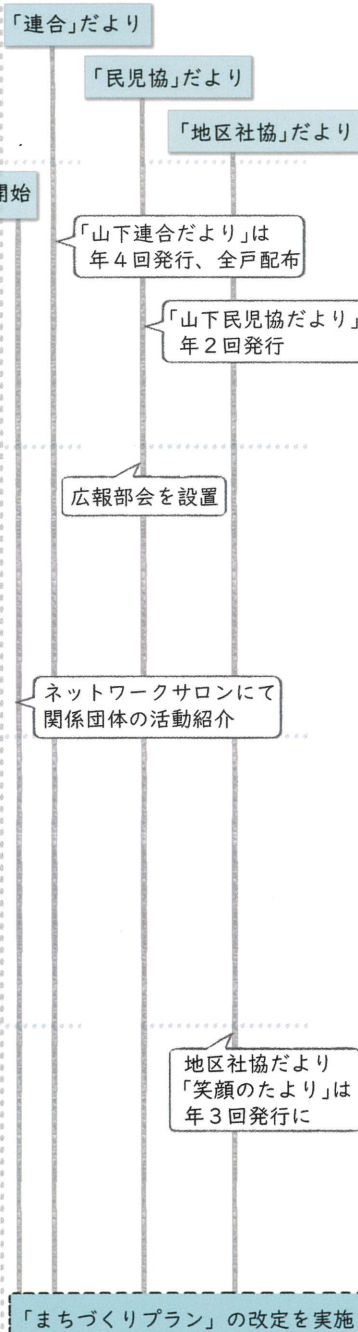
第3期 目標1

地域での「つながり」を大切に、健康で元気に暮らし続けられるまちづくり



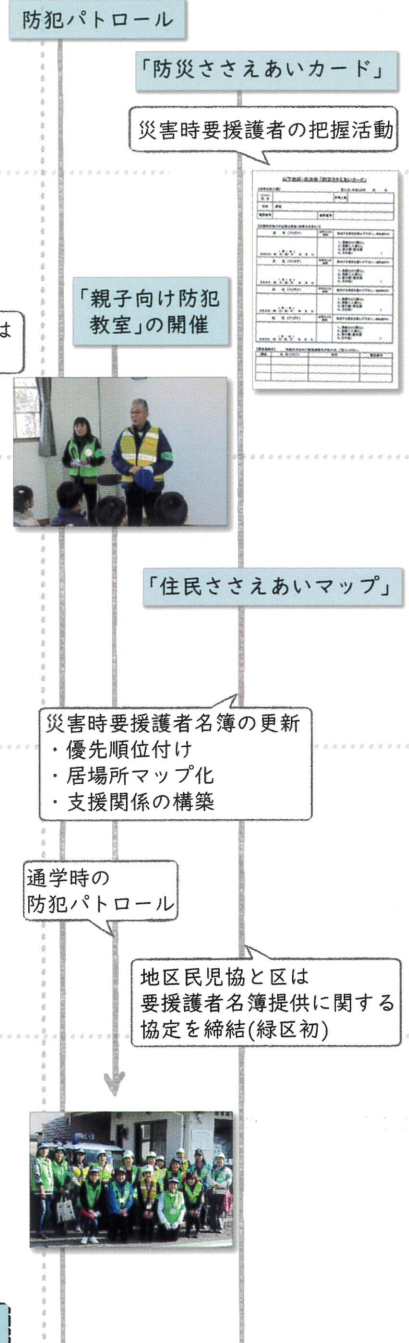
第3期 目標2

必要な「情報」が入手しやすいまちづくり



第3期 目標3

「防災・防犯」で安心・安全なまちづくり



新型コロナウイルス感染症のまん延により多くの活動が一定期間の中止や縮小
その後 感染予防や開催方法の工夫をしてできるところから活動を再開

工夫をして活動したりできるところから活動再開

問い合わせ先

横浜市緑区役所福祉保健課 住所：緑区寺山町118 電話：045-930-2304 FAX：045-930-2355
 横浜市緑区社会福祉協議会 住所：緑区中山2-1-1 電話：045-931-2478 FAX：045-934-4355
 横浜市山下地域ケアプラザ 住所：緑区北八朔町218-13 電話：045-931-6275 FAX：045-935-3883